

エピソード25

子ども泣いてると 保護者から電話がありました。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験
があります。エデュサポネットのファ
シリテーターです。



小学校で学級担任をしている先生の、
若い頃の経験をお聞きします。

放課後ひなさんが帰宅すると、お父さん
から「ひなが、先生にひどく怒られたと
大泣きしている。」と電話がありました。

僕は驚いて、ひなさんを怒っただろうか…
と今日の記憶をたどりました。





何か思い当たることはありましたか。

僕は記憶をたどりましたが、思い当たることがなかったのので「今日、ひなさんを怒ったことはありませんが…」とお父さんに言いました。

お父さんは「そんなことはないだろう。それなら、なぜひなは泣いているんですか。」と言いました。





その後、お父さんとどのようなやり取りがありましたか。

僕がどんなことで怒ったのか、ひなさんにお父さんから話を聞いてもらいました。

すると、ひなさんが発表した時に「もっと大きな声で」と注意したことを、怒られて怖かったと感じたことがわかりました。





お父さんからひなさんの話を聞いて、
先生はどうしたのですか。

お父さんにその時の状況をお話しし、
怖い思いをさせてしまったことを
ひなさんに謝りました。

電話を切った後、どうしてこんなことにな
ったのかと悩みました。そして
先輩の先生に相談しました。





先輩の先生は、どんな
アドバイスをしてくれましたか。

先輩は「保護者はわが子のことを、
本当に大切に思っているんだよ。
だからまず真摯に向き合って話を聞いて、
ていねいに対応することが大事だよ。」

「きちんと話せば、きっとわかってくれる
はずだから。」と話してくれました。





丁寧に対応するとは、具体的には
どんなことだと話してくれましたか。

保護者の「心配した、驚いた」気持ちを
しっかりと受け止めること、その後で、
自分の考えを押し付けるのではなく、
きちんと理解してもらおうように伝えること。

できれば電話じゃなくて、顔を見て話す
ことが大切だと思う、と話してくれました。





先輩の先生が、一番大切にしていると思ったことはどんなことでしたか。

先輩は、子どもの成長にとってどうすることが一番いいか考えると言っていました。

僕は「子どもにとって」ということを軸にして、保護者としっかり話し合うとうまくいくんじゃないかと思いました。





なみちゃんの一言

- 保護者が、不安に思っていることがあるときは、まず不安な気持ちをしっかりと受け止めることが大切です。
- 落ち着いてから自分の気持ちを伝えると、理解してもらえることが多いように思います。
- また、保護者と話し合うときは「子どもにとって何がいいのか」という視点を忘れてはいけないのですね。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)